

▼フェソロデックス筋注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】フルベストラント fulvestrant 【分類】抗悪性腫瘍剤 [抗エストロゲン薬]

【単位】▼250mg/Syr [5mL]

【常用量】1回500mg, を0, 2週後, 4週後, その後4週ごとに左右の臀部に1筒ずつ筋注

【用法】左右の臀部に1~2分かけて緩徐に筋注 [注射部位は毎回変更する]

【透析患者への投与方法】安全性が確立していないため重度の腎機能障害患者には慎重投与 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】安全性が確立していないため重度の腎機能障害患者には慎重投与 (1) Cr 30mL/min 以上ではPKに変化なし (1)

【特徴】閉経後乳癌に適用される抗エストロゲン剤。エストロゲン受容体の分解を促進することにより結合を阻害する。また、部分アゴニスト作用を有さず、エストロゲン受容体へのエストラジオールの結合を競合的に阻害する。

【主な副作用・毒性】肝機能障害, 血栓塞栓症, 注射部位反応, 悪心, 嘔吐, 頭痛, めまい, 気分変動, ほてり, 高血圧, 筋肉痛, かゆみ, 発疹, 発熱, 卵巣腫大, 高血糖, 貧血, 白内障など

【安全性に関する情報】主な副作用は胃腸障害とほてり (Curran M and Wiseman L: Drugs 61: 807-13, 2001 PMID: 11398912)

【F】筋注では完全に吸収される (1)

【tmax】6日 [im] (1) 1週間 (Robertson JF, et al: Br J Cancer 90: S7-10, 2004)

【代謝】スルホン体への酸化, 17-酸化, 硫酸抱合化及びグルクロン酸抱合化される (1) スルホン体への代謝には CYP3A4 が関与 (1) 代謝物に活性はない (Robertson JF, et al: Br J Cancer 90: S7-10, 2004)

【排泄】尿中回収率 0.6% [21 日まで] (1) 尿中回収率 1%以下で, 糞便中に 80~90%回収 (Robertson JF, et al: Br J Cancer 90: S7-10, 2004) 【CL】 11.1 ± 1.7 mL/min/kg [iv] (1)

【t1/2】49日 (Robertson JF, et al: Clin Ther 25: 1440-52, 2003)

【蛋白結合率】98.8% [リボ蛋白] (1)

【Vd】 $V_c=0.15 \pm 0.05$ L/kg, $V_{ss}=4.1 \pm 1.6$ L/kg [iv] (1)

【MW】606.77

【透析性】除去されないと思われる (5)

【O/W 係数】溶解しないため測定できない (1) 【薬物動態】2-コンパートメントモデルに適合し, 線形で, 月1回投与で蓄積率 2 (Robertson JF, et al: Clin Pharmacokinetics 43: 529-38, 2004)

【相互作用】CYP3A4 関連の相互作用を受けない (Robertson JF, et al: Br J Cancer 90: S7-10, 2004)

【更新日】20180529

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。